

2024

ミニディスクロージャー誌

～ J A 事業のご報告（令和6年8月期）～

1. 組合長挨拶



組合員の皆様には、日頃より、J A 事業に対しまして特段のご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ディスクロージャー誌の作成にあたっては、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J A の主な事業の内容や経営の内容等について、わかりやすくまとめました。

皆様が、当 J A の事業をさらにご利用いただくための一助として是非ご一読いただきますとともに、今後も一層のご理解とご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年10月 はが野農業協同組合

代表理事組合長 渡辺 栄

2. 農業振興活動

当 J A では、所得増大・生産拡大・地域活性化について様々な取り組みを実施しています。現在取り組んでいる、J A 自己改革「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「経営・財務基盤の強化」について皆様にご紹介いたします。

1. 農業者の所得増大

令和6年3月、J A 全農とちぎが進める青果物広域集出荷センターが稼働しました。

複数の J A が利用し複数品目の選果・選別・包装を担う施設は、J A グループとして初となります。敷地面積は49,906平方メートルで令和3年5月に着工し、令和5年12月に完成しました。

生産者の労力軽減、青果物の一元的な販売によるブランド力の強化、集約して配送することで物流問題への対応が図れ、生産者の手取りの最大化や生産基盤の維持・拡大を目指す施設となっています。



2. 生産コスト削減による所得増大

原料価格高騰により、生産コストが上昇している状況を踏まえ、大型規格農薬・肥料満車直送の普及拡大による生産資材価格の引き下げに取り組んでいます。

また、肥料銘柄の集約や、フレコン肥料の取り扱い拡大を進め、物流コスト低減と生産資材価格の引き下げにも取り組んでいます。

今後も全農との共同協議や市況調査を継続し、引き続き生産コストの低減に努めます。

3. 地域貢献情報

●地域貢献に対する考え方

当 J A は、真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の郡内5市町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。当 J A では、「愛・生命そして未来へ」をビジョンとして掲げ、運営・経営にあたっています。

当 J A の資金は、その大半が組合員の皆様等からお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としています。当 J A では資金を必要とする組合員の皆さま方や地方公共団体等にもご利用いただいています。

また、J A の総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

当 J A では、大規模災害に対する対応方針で事業継続計画（BCP）を策定し、災害時においても事業継続を行うことに最大限努めています。

組合員及び出資金の推移

	令和6年2月末	令和6年8月末
正組合員	14,769人	14,663人
准組合員	4,938人	4,979人
合計	19,707人	19,642人
正組合員戸数	12,504戸	12,416戸
准組合員戸数	3,969戸	3,996戸
合計	16,473戸	16,412戸
出資金	3,946百万円	3,946百万円

●地域からの資金調達の状況（8月末）

貯金・積金平均残高

組合員等	152,750百万円
その他	37,117百万円
合計	189,868百万円

（注）左記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金2,835百万円が含まれています。

●地域への資金供給の状況（8月末）

(1) 貸出金平均残高

組合員等	29,590百万円
その他	10,412百万円
合計	40,003百万円

(注) 左記「その他」には、地方公共団体等への貸出金7,672百万円が含まれています。

(2) 融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	24,031百万円
教育ローン	110百万円
自動車ローン	1,245百万円
営農ローン	380百万円
農業資金	1,854百万円
日本政策金融公庫資金	—
農業近代化資金	590百万円
畜産特別資金	—
災害条例資金	—
その他制度資金	6百万円
その他	11,780百万円
合計	40,003百万円

(注) 上記のうち「日本政策金融公庫資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成等を目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。制度融資には大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体、JAが利子補給を行う制度があります。前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金（農業改良資金、就農支援資金含む）であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

●文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。

このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しています。

組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命等を果たしています。

(1) 地域住民との交流

次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食への地元農畜産物の提供、図画・作文コンクールの開催、社会科副読本の提供、「未来ちゃんクラブ」による田植えや収穫作業といった農作業体験を通じて、農業への関心を高める取り組みを行っています。また、貸農園での農業体験や直売所での地元農産物の販売等により地域住民との交流に努めています。

(2) 暮らしの活動

組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、暮らしの活動を展開し、JAまつりや趣味の会、女性大学を開催する等、利用者ネットワークづくりへの取り組みを進めています。

また昨年に引き続き、農業体験を通じて農業や国産農畜産物への理解や、JAとの関係強化を目的に、「男前クラブ」を開講しています。

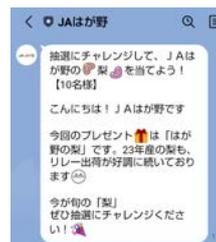


(3) 情報発信活動

組合員の皆様向けに、毎月広報誌「ベリーネットはが野」を発行して、JAの事業や地域の情報を発信しています。あわせて、インターネット上にホームページを開設して身近でタイムリーな情報発信に努めています。

また、各地区が「地区だより」を発行し、独自の地域情報を発信しています。

LINEを活用した情報発信では、お得なイベント情報やはが野の旬の農産物が当たる抽選を随時開催しています。さらに、LINEの速報性を活用し、米施設の臨時稼働や自然災害への対策情報等の緊急情報も、リアルタイムで発信しています。是非ご登録ください。



(4) 地方創生に関する事項

芳賀郡市内の1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）との「包括連携協定」を締結し、地方創生推進により地域の活性化に取り組んでいます。

(5) 店舗体制

店舗及び事務所名	住所	電話番号	ATM設置台数
本店	真岡市八条95	0285-83-7725	0台
真岡支店	真岡市中郷219-1	0285-84-6611	2台
二宮支店	真岡市久下田1710-1	0285-74-0020	2台
益子支店	益子町益子1994-5	0285-72-3246	2台
茂木支店	茂木町増井33-2	0285-63-1105	2台
市貝支店	市貝町市塙1226	0285-68-1311	1台
芳賀支店	芳賀町祖母井南1-2-1	028-677-0080	2台

4. 農協法に基づく開示債権の状況及び 金融再生法開示債権区分に基づく債権の 保全状況

(単位：百万円)

債権区分	令和6年	債権額	保全額				(参考) 購買未収金
			担保	保証	引当	合計	
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権(A)	2月末	305	138	65	92	297	62
	8月末	236	129	33	74	236	62
危険債権 (B)	2月末	168	16	63	89	168	6
	8月末	198	22	86	89	198	12
要管理債権 (C)	2月末	-	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
三月以上 延滞債権	2月末	-	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
貸出条件 緩和債権	2月末	-	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
小計 (D=A+B+C)	2月末	474	155	129	181	466	68
	8月末	435	151	119	164	435	74
正常債権 (E)	2月末	39,144					480
	8月末	40,567					797
合計 (D+E)	2月末	39,619					549
	8月末	41,002					871

(注)

- 令和6年2月末から令和6年8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 債権区分は、次のとおりです。
 - 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 - 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
 - 危険債権
 - 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
 - 要管理債権
 - ④「三月以上延滞債権」と⑤「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
 - 三月以上延滞債権
 - 元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
 - 貸出条件緩和債権
 - 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
 - 正常債権
 - 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

5. 単体自己資本比率

令和6年2月末	令和6年8月末
20.01%	20.04%程度

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しています。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

6. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和5年8月末	令和6年2月末	令和6年8月末
貯金	189,802	192,253	187,990
貸出金	39,562	39,559	40,971
預金	127,980	131,800	124,695
有価証券	21,444	19,278	21,559
(参考) 購買未収金	859	549	871

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

7. 有価証券の時価情報

[売買目的有価証券]

売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

[満期保有目的の債券]

(単位：百万円)

種類	令和6年2月末			令和6年8月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	政府保証債	-	-	-	-	-
	社債	100	100	0	100	0
	合計	100	100	0	100	0

(注) 貸借対照表計上額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

[その他有価証券]

(単位：百万円)

種類	令和6年2月末			令和6年8月末			
	取得価額	貸借対照表計上額	差額	取得価額	貸借対照表計上額	差額	
貸借対照表計上額が取得価額を超えるもの	国債	2,042	2,129	87	2,044	2,105	61
	社債	800	827	27	800	820	20
	小計	2,842	2,957	115	2,844	2,926	81
貸借対照表計上額が取得価額を超えないもの	国債	16,156	14,517	△ 1,638	16,821	14,736	△ 2,084
	社債	1,800	1,703	△ 96	1,800	1,697	△ 103
	小計	17,956	16,221	△ 1,734	18,621	16,433	△ 2,187
合計	20,798	19,178	△ 1,619	21,466	19,360	△ 2,106	

(注) 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

8. 令和6年度下半期の取り組み

営農事業

- ・米全量集荷の呼びかけにより、安定した数量を確保することで販売先との信頼関係を構築するとともに、早期販売による共通経費の削減に努めます。また、積極的な宣伝・広告活動を展開します。
- ・高品質麦生産のための麦栽培講習会を開催します。
- ・JA全農とちぎ青果物広域集出荷センターと連携を図り、青果物の円滑な荷受・検査・出荷業務の遂行と迅速な営農情報（品質、販売情勢、市況）の発信を行い、生産者の所得向上、労力軽減に努めます。
- ・青果物各品目で統一目揃会等を開催し、高品質な農産物の集出荷による販売額の向上に取り組みます。

購買事業

- ・令和7年産春肥予約取りまとめにおいて、新商品を投入し効率化と価格抑制に努めます。また、近隣店舗の市況を踏まえた価格設定及び全農との共同協議を実施し、生産資材の価格安定による生産コスト低減に努めます。

信用事業

- ・組合員・利用者の人生設計に必要となる資産形成・運用ニーズに対し、より適切なサービスや金融商品の提案を行います。
- ・社会保険労務士による年金無料相談会を各支店で開催する等、複雑な受給手続きのサポートを行います。
- ・各支店でスマホ教室を開催し、組合員・利用者のくらしや非対面チャネルを利用した利便性向上のサポートを行います。
- ・営農経済担当部署と連携し、農業融資等に関する資金ニーズの把握と情報提供に努めます。
- ・JAバンクアプリプラス・ネットバンク・ネットローンの利用促進により、顧客利便性の向上と新規顧客の獲得を図ります。

共済事業

- ・組合員・利用者の皆さまへの日頃の感謝を込めて、ひとの保障・いえの保障の請求漏れの確認、ご家族にお変わりがないかの確認活動を展開します。
- ・組合員・利用者の皆さまに、身近な存在として寄り添う活動に努めます。
- ・ご相談は、支店窓口のスマイルサポーター、または、ライフアドバイザーがお伺いします。お気軽にお問合せ下さい。

福祉事業

- ・利用者一人ひとりの身体機能や生活機能の維持・向上のため、介護サービスの充実に取り組みます。
- ・介護予防のため自立支援に取り組むとともに、市、町包括支援センターと連携した介護支援に取り組みます。

その他事業

- ・JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化を図り、地域に必要とされるJAを目指します。
- ・広報誌、ウェブサイト、農産物直売所等や各種メディアを活用した情報発信に努め、JA事業の理解促進に取り組みます。
- ・総合事業展開による組合員ニーズへの対応と、地域社会の活性化への貢献を実現するため、財務基盤の強化に取り組みます。

『以上のような取り組みを行うとともに、今後も経営の透明性・健全性・信頼性のさらなる向上に努め、組合員・利用者の皆様のご期待に応えて参ります』



LINE 公式
アカウント



お得な情報や

施設臨時稼働等を

リアルタイムで配信！

公式
ホームページ



イベント情報や

営農情報等を随時配信！